



## 東日本大震災支援活動の報告(速報)

2011年4月29日

日本臨床発達心理士会 東日本大震災支援対策本部

3月20日に東日本大震災支援対策本部が発足し、3月23日の幹事会承認により、災害地支援部門(ステイ型支援)と支部近辺避難所支援部門(日帰り型支援)をきめ、会員へのボランティア募集とその活動のための震災支援活動基金の呼びかけをしました。これまでの活動経過を以下にご報告いたします。



### 1. 「東日本大震災」支援専用ページ

臨床発達心理士向けの災害情報、安否確認を目的とした掲示板を設置し、会員同士の連絡や最新情報などを発信しています。<http://www.jocdp.jp/saigai/index.html>

びえろプロジェクト

### 2. 広報パンフレットの作成

震災支援活動の広報用のパンフレットを作成し、避難所や各関係機関に配布をしています。今回の支援活動は心構えの7つのキーワード(Peace Independence Encourage Resilience Respect Objective Team-approach)の頭文字をとって「びえろプロジェクト」という略称にしました。ピエロのイラストは宮内典子様のご協力により特別にデザインしていただきました。

### 3. JDDによる宮城県・福島県専門家チーム視察の報告

厚生労働省の要請に応じ、日本発達障害ネットワーク(JDD)が4月6~13日に宮城県と福島県へ専門家チーム第一陣として7名を派遣しました。日本臨床発達心理士会からは、震災支援対策本部の堀江まゆみを含め、3名の臨床発達心理士が参加しました。宮城県では石巻地区の被害が大きいことから、その地域にあるかもめ学園という児童デイサービスを正常化するとともに、近隣の避難所や家庭にいる障害児の支援の拠点として活用していくことがJDDで計画されています。福島県では相双地域を中心に視察がおこなわれましたが、避難所から避難所への移転がつづくなど不安定な状況であることから、今後の動向を見守りながら支援内容を検討していきます。5月7~13日の第二陣に支援対策本部の前川あさ美が参加し、岩手県と宮城県の視察を行ない、具体的な支援内容と臨床発達心理士会としての協力体制を確認し会員にお伝えしていきます。

### 4. 東北支部の地域連携による支援活動

宮城県を中心に臨床発達心理士会東北支部と宮城県臨床心理士会、学校心理士会宮城支部が合同で教師向けの研修会を行います。また、仙台市保育課、私立幼稚園連盟との連携による保育者向けの研修会や巡回相談をすすめていきます。

その他にも、東北支部会員の支援活動が掲示板やMLで報告されています。今後も、東北支部における支援活動は、震災支援本部や非被災地支部との連携によってバックアップしていきます。

### 5. 埼玉支部の福島県双葉町町民への支援

埼玉県へ避難してきた福島県双葉町の方々に対して、3月31日まで、「さいたまスーパーアリーナ」での支援(養育者への相談、保育的サービス、障害児支援)を行いました。その後も加須市で「あそびの広場」や「傾聴ボランティア」などを実施しています。

### 6. 東京支部の日帰り支援調査

4月10日にボランティア研修会を前川あさみ先生による講義を含め実施しました。研修会で都内の避難所の実態調査を会員に依頼しましたところ、都内の避難所は都や区の職員、地域ボランティアによる支援が多く入っており、避難者も転居したり、帰郷するなど地域支援の中での対応へと移行してきています。詳しくは東京支部のHP震災専用掲示板に掲載されています。